

〔技術のページ〕

「おかやま^{ヨ ツ ボシ}四ツ☆子牛」最近の成績

畜産研究所 飼養技術研究室 生産性向上研究グループ

岡山県では、総合家畜市場に上場される和牛子牛の資質向上を目的に、肥育農家の求める子牛の生産を目指し、「おかやま四ツ☆子牛」（以下、「四ツ☆子牛」とする）の取り組みを行っています。

四ツ☆子牛の成績を見ると高く売れる子牛の傾向が見えてくると思います。ぜひ、参考にしてください。

1 四ツ☆子牛と認められるには

表1の4つの（☆）の条件を満たした発育良好な子牛に与えられる称号が「四ツ☆子牛」です。この認定基準は、購買者（肥育農家）が求める、発育良好で、粗飼料をしっかり食い込み、腹の良くできた斉一性の高い優良子牛を示す基準でもあります。また、認定された子牛には、リボンが装着され電光掲示板で「四ツ☆子牛」であることを示し、購買者が見分けられるようにしています。

2 四ツ☆子牛認定率および価格の推移

表2は、平成25年度からの「四ツ☆子牛」認定率および価格の推移を示した表です。認定率は、平成25年度の17.4%から平成30年度の19.5%と増加しており、肥育農家の求める子牛が市場に増えつつあることを示しています。また、「四ツ☆子牛」認定子牛と体測結果不適合子牛との差額は、平成30年度では6万円台であり、「四ツ☆子牛」に認定された子牛は、購買者からも高く評価されていることを裏付けています。

次に、表3では、岡山子牛市場への出荷牛のその後を調査し、判明した枝肉成績を

表1 四ツ☆子牛認定基準

- ☆ 出荷日齢：雌 225日齢以上285日齢未満
去勢215日齢以上275日齢未満
- ☆ 体高及び胸囲：全国和牛登録協会が示す発育基準の1.0σ以上
- ☆ 胸囲と腹囲の差：22cm以上
- ☆ 過肥、著しい瑕疵、損徴のないこと

※σ値…標準偏差のこと。数値が大きいほど平均から離れていることを意味する。

まとめています。「四ツ☆子牛」の肉質等級4等級以上の割合が去勢、雌ともに体測結果不適合牛と比較して10%以上高く、「四ツ☆子牛」認定された子牛は、その後の枝肉成績も良好なことがわかります。

表2 四ツ☆子牛認定率と販売価格の推移

(円：税抜き)

年度	上場頭数	四ツ☆子牛			四ツ☆子牛以外 平均価格	差額
		頭数	認定率	平均価格		
H25	2,944	511	17.4%	508,561	452,226	56,335
H26	2,682	495	18.5%	552,157	498,646	53,511
H27	2,632	466	17.7%	656,434	594,537	61,897
H28	2,530	546	21.6%	789,952	713,829	76,123
H29	2,585	479	18.5%	748,772	660,912	87,860
H30	2,630	512	19.5%	732,672	668,882	63,790

3 認定に向けた注意点

四ツ☆子牛認定基準のうち、出荷日齢および体測基準を合格した子牛は、過肥、瑕疵、損徴などがいないか審査されます。その審査で不合格となった理由を表4にまとめました。

平成25年から28年度までは「過肥」の割合が多く、飼料給与量を適正に管理することで改善が可能です。一方、平成28年から

表3 四ツ☆子牛の枝肉成績（平成21年度～現在）

区分	子牛市場における成績									その後の枝肉成績							
	頭数	日齢	月齢	体重	体重σ	体重/日	体高	体高σ	胸幅差	出荷月齢	枝肉重量	コース	脂肪交雑	4・5等級	5等級	歩留	
雌	全体	4,833	270	8.9	265.2	0.63	0.99	112	0.52		29.8	444	56.3	5.96	65%	21%	82%
	体測結果不適	3,978	273	9	261.3	0.42	0.96	111	0.26		29.8	437	55.9	5.9	63%	21%	83%
	体型等審査不適	424	256	8.4	283.1	1.57	1.10	114	1.66	26.7	29.5	470	57.4	6.09	67%	24%	82%
	（うち過肥）	220	258	8.5	288.2	1.67	1.12	114	1.61	26.4	29.8	469	56.6	6.13	69%	24%	79%
	四ツ☆	431	255	8.4	284.3	1.65	1.11	115	1.83	25.6	29.6	478	59.3	6.38	76%	26%	81%
去勢	全体	10,819	259	8.5	281.3	0.89	1.09	115	1.26		28.7	487	57.2	6.26	73%	27%	87%
	体測結果不適	7,803	264	8.7	275.3	0.47	1.05	114	0.88		28.8	479	56.4	6.14	69%	25%	87%
	体型等審査不適	1,069	246	8.1	297.4	2.06	1.21	117	2.22	27.2	28.2	512	58.1	6.44	76%	29%	86%
	（うち過肥）	263	247	8.1	300.7	2.07	1.22	117	1.93	27.4	28.4	504	55.5	6.21	75%	24%	83%
	四ツ☆	1,947	247	8.1	296.4	1.95	1.20	116.0	2.24	26.1	28.4	506	59.8	6.81	83%	35%	88%

30年度では、体上線の緩さが原因の「背」、削蹄の不十分な「爪」で不合格になる割合は依然として多く、特に「爪」は適切な削蹄による改善が望まれます。

4 最近の種雄牛の傾向

上場牛の父牛について系統別の割合を図1にまとめました。平成29から30年度にかけて気高系統の割合が増加していることが分かります。日齢に応じた体積、体重が購買者に求められる中、発育良好な増体系種雄牛の利用が増えているものと思われます。

5 最後に

岡山和牛子牛資質向上対策協議会では、「四ツ☆子牛」の認定率を去勢および雌ともに30%に引き上げようと活動しております。この目標の理由は、データからも明らかのように、「四ツ☆子牛」は生産者および購買者、両方に喜ばれる子牛だからです。この活動を通じて、岡山県産の子牛の資質を向上し、子牛市場を盛り上げていきたいと考えております。

表4 四ツ☆子牛不合格理由

	H25	割合	H26	割合	H27	割合	H28	割合	H29	割合	H30	割合
1位	過肥	26.7%	過肥	21.9%	過肥	22.9%	背	25.1%	背	19.2%	背	23.3%
2位	背	17.7%	背	20.2%	肩	19.6%	過肥	21.1%	肩	17.1%	肩	21.7%
3位	肩	16.8%	肩	18.5%	背	16.7%	肩	21.1%	過肥	14.2%	過肥	12.9%
4位	爪	8.4%	爪	9.9%	爪	10.2%	爪	13.8%	爪	13.3%	幅	7.9%
5位	幅	6.0%	幅	5.6%	過大	4.5%	骨	5.3%	幅	10.3%	爪	7.5%

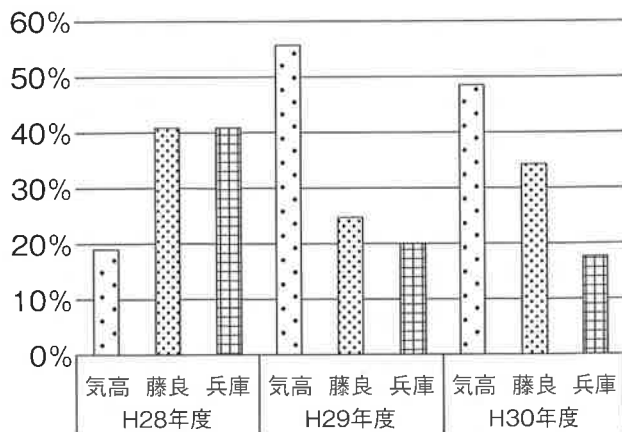


図1 上場牛の父牛の系統別割合